

大正十五年 福井縣統計書 第三編
 昭和元年

本編ハ大正十五年又ハ大正十五年ノ事項ヲ掲載シタルモノ
 ナリ然レトモ其ノ以後ノ事項ニシテ調査ヲ了ヘタルモノハ之
 ヲ掲載シ又已ムヲ得サルモノハ大正十三年若クハ大正十三年
 度以前ノモノヲ掲ケタルモノアリ

編中何年度ト記スルモノハ其ノ年四月一日ヨリ翌年三月三
 十一日ニ至ル一箇年度何年ト記スルモノハ其ノ年一月一日ヨ
 リ十二月三十一日ニ至ル一曆年間 何日ト記スルモノハ其ノ
 現在ノ意ナリ

前數年ノ事項ヲ掲載シタルモノハ本表ノ數字ト其ノ質ヲ同
 フス即チ本表ガ現在數ナルトキハ比較數モ亦現在數 本表ガ
 一年間若ハ一年度間ノ數ナルトキハ比較數モ亦一年間若ハ一
 年度間ノ數ナリ 數位ハ千位百萬位ニ「,」小數アルモノハ單
 位ニ「.」ヲ附シ不詳ノモノハ「?」一位ニ滿タサルモノハ「○」
 全ク無キモノハ「—」ヲ填人セリ

金錢ニ關スルモノハ概子四捨五入ノ法ヲ用キテ圓位ニ止メ
 タリ

度量衡換算表

瓦(グラム)	二升五合一勺八六八	吋(インチ)	三分三厘八毛
封度(ポンド)	百二十斤九五九	打(ダース)	十二箇
米突(メートル)	三尺三寸	番(グロス)	十二打
碼(ヤード)	三尺一分七四五	噸(ト ン)	二百七十貫九四六〇一 又ハ千六百九十三斤四一六

大正十五年 福井縣統計書目次
昭和元年

第三編 產業

第一 生產物總價額

1 生產總價額..... 1

第二 農 業

2 耕地面積..... 1
3 耕地整理ノ一..... 2
4 耕地整理ノ二..... 3
5 農產總價額..... 3
6 米..... 4
7 米收穫高前年及平年比較..... 4
8 移出米檢査..... 5
9 麥作付段別收穫高及價額..... 6
10 食用農產物..... 8
11 果實..... 9
12 蔬菜及花卉..... 10
13 工藝農產物..... 14
14 絲用用作物..... 16
15 果樹苗..... 17
16 桑畑..... 16
17 桑苗..... 18
18 養蠶戶數及揚立枚數..... 18
19 繭..... 19
20 春蠶..... 19
21 夏秋蠶..... 20
22 茶畑..... 20

第三 畜 產

23 畜產總價額..... 21
24 牛..... 22
25 馬..... 22
26 豚..... 24
27 緬羊..... 24
28 山羊..... 25
29 鷓..... 26
30 鷓..... 26
31 牛乳..... 27
32 屠殺..... 28

第四 林 業

33 林產總價額..... 28
34 民有林野面積..... 29

35 國有林造林用苗木..... 29
36 國有林植栽..... 30
37 國有林伐採..... 30
38 國有林野被害..... 30
39 保安林累年比較..... 31
40 造林用苗木累年比較..... 32
41 苗圃面積..... 32
42 公私有造林用苗木..... 33
43 公私有林野人工造林(新植)..... 34
44 公私有林野人工造林(補植)..... 34
45 竹林植栽..... 36
46 公私有林野天然造林..... 38
47 民有林野伐採累年比較..... 37
48 民有林野伐採..... 38
49 林野產物..... 40
50 木炭..... 42
51 民有林野被害..... 42

第五 水 產

52 水產總價額..... 43
53 漁船ノ一..... 44
54 漁船ノ二..... 44
55 遭難漁船..... 45
56 沿岸漁獲物..... 46
57 水產養殖ノ一..... 50
58 遠洋漁業..... 52
59 水產製造物..... 54
60 水產業者..... 60

第六 鑛 業

61 鑛產總價額..... 60
62 鑛區及坪數..... 61
63 石材土石及鑛水..... 62

第七 工 業

64 工產物價額..... 62
65 工場數及從業者數..... 64
66 職工數別從業者數..... 64
67 織物..... 66
68 絲織物..... 72
69 絹織物及絹編交織物..... 76

2 目 次

70	麻織物及麻文織物	80
71	毛織物及文織物	82
72	綢及染物	82
73	ノリヤス製品	86
74	帽子	86
75	陶磁器	87
76	瓦及土管	88
77	其ノ他ノ建築製品	89
78	漆	88
79	漆器	90
80	製漆	91
81	皮革製品	92
82	植物油	92
83	蠟燭	93
84	蠟燭	94
85	飲食物雜類	94
86	竹製品	96
87	雜製品	96
88	柁柳製品	97
89	木製品	97
90	織物	98
91	疊表裏布及花布	98
92	置網	100
93	雜製品	101
94	各種工產物	100
95	織物用具	106
96	織造物	106
97	製茶	108
98	製絲戶數查對及職工	110
99	製絲產額	112

100	其種	116
101	蠶種	117
102	肥料	118

第八 商業會社銀行等

103	主要貨物	118
104	發貨港外國貿易國別	122
105	發貨港外國貿易種類	123
106	港灣貨物出入	124
107	商品陳列所	125
108	會社總數	126
109	會社資本金別	126
110	會社業態別	127
111	勸業銀行預金	128
112	勸業銀行貸付金	129
113	勸業銀行貸付金借主別	129
114	無擔保者及資本金	129
115	無擔口數及給付契約高	130
116	無擔契約高給付金額別	130
117	無擔契約高職別	130
118	無擔契約高期間別	130
119	普通銀行資本金積立金入金出金純貸金配當金	132
120	普通銀行貸付金	133
121	普通銀行預金	133
122	銀行內國為替	132
123	銀行普通貯蓄	134
124	勸業貯蓄	134
125	郵便貯蓄	134

總 説

生産物總價額

大正十五年ノ生産額一億六千五百四十六萬圓ニシテ一戸當一千三百二十四圓トナリ前年ヨリ一千七十八萬圓ノ減少トナレリ、之レ不景氣ニ原因スルモノニテ大正十一年ヨリ漸増ノ姿ナリシガ又十四年ヲ頂點トシテ減少ノ趨勢ニ變レリ、生産物中工産物ハ六割八分ヲ占メ其ノ産額一億一千二百餘萬圓トナル、之ニ次クハ農産ニシテ二割四分ヲ占メ三千九百六十八萬圓トナル水産ハ全國有數ノ内ナレドモ未ダ七百萬圓ニ達シタルコトナシ、毎年六百四五十萬圓ヲ往復セリ、次ハ林産ニシテ四百九十二萬圓前年ヨリ激減シ二百餘萬圓ヲ減少シタリ、是レ價額低落ノ爲メ伐採ヲ手控シタルノ現象ナリ、然レドモ林産ハ大正八年以來七八百萬圓ニ達シ常ニ水産ノ上位ニアリテ緩ガセニスペカラザル林産縣タリ次ハ畜産百五十萬圓前年ヨリ十萬圓ノ増加ナレドモ未ダ發達セリト云フヲ得ズ、之レ宗數ノ影響ヲ受クルニアラザルカ又一面ニハ魚介ノ豐富ナルニモ起因スルモノアラン、鑛産ハ僅カ五才萬圓ニシテ、面谷鑛山廢坑ノ大正八年以來見ケベキ影ダニナシ、之レヲ地方別ニ觀レバ農産ハ坂井郡ニシテ八百五十萬圓ヲ有シ二割三分ヲ占ム他ハ凡テ之レガ約半額以下ナリ、工産ハ福井市ノ二千七百萬圓最高ニシテ二割四分ヲ占ム次ハ坂井郡ノ一千九百萬圓今立郡ノ一千六百萬圓丹生郡ノ一千四百七十五萬圓等主ナルモノナリ、水産ハ坂井郡ノ百七十四萬圓丹生郡ノ百五十五萬圓ヲ最高トシ遠敷郡ノ八十六萬圓敦賀郡ノ六十五萬圓三方郡ノ六十六萬圓等之ニ亞ク。

耕 地 面 積

昭和元年末現在ニテ田四萬八千七百八十六町六段畑一萬二千六百五十五町三段合計六萬一千四百四十一町九段トナル農家一戸當八段七畝弱トナル坂井郡ハ一萬三千八百七十八町ヲ有シ、縣下ノ二割三分ヲ占ム、次ハ大野郡ノ九千三百八十八町丹生郡ノ六千六百十三町今立郡ノ六千七百四町等主ナルモノニシテ福井市ノ三十三町最少ナリ。

農 産

米 本縣産物中絹織物ニ亞ク重要ナル産物ニシテ又他ノ追隨ヲ許サザル特産ナリ品質善良ニシテ加ラカニ近年産米検査ヲ勵行シ聲價漸ク高カラントス、毎年他ニ輸出スルコト三十萬石ヲ下ラザルノ情況ナリ、大正十五年ノ産額ハ九十七萬石ニシテ平年作ニ近シト稱フベシ、作付段別ハ四萬八千六百町歩ニシテ前年ヨリ六十三町歩ヲ増加シタリ勞銀

暴騰ノ影響ヲ受ケ片山田ハ荒廢ニ委シタルモノ多シト雖耕地整理ヲ獎勵ノ結果幾分ノ増加ヲナセリ、一段歩ノ收穫高ハ縣下平均先ヅ二石ヲ落テタルコト殆ンドナシ、大野及嶺南四郡ハ二石以内ニテ其ノ他ハ二石以上ナリ、之レ前者ハ山間ノ田多キ所以ナリ、坂井郡ハ其ノ産額最モ多ク二十二萬八千石ヲ産シ縣下ノ二割三分ヲ占ム之ニ亞グモノハ大野、今立、丹生ナレド坂井郡ノ約半額ナリ。

麥 本縣ノ麥ハ甚ダ僅少ニシテ大正十五年ハ五萬四千八百二十六石ヲ産シ前年ヨリ二千九百石ヲ增收セリ、作付段別ハ四千三百五十七町歩ニシテ年々減少ノ傾向ナリ最近十年間ニ千五百町歩ヲ減少セリ、一段歩收穫高ハ僅カー石二斗有餘ナリ、作付ノ最モ多キハ坂井郡ニシテ一千六百五十二町歩大野郡之ニ亞グモ僅ニ之ガ半數ナリ。

食用農産物 大正十五年ノ總額百三十七萬二千圓ニシテ前年ヨリ三十四萬六千圓ヲ減少シタリ之ニ屬スル作付ハ年々減少ノ傾向ニシテ唯稍増加スルハ馬鈴薯ノミナリ、近年勞銀騰貴セルニ反シ、雜穀ノ價額ハ之ニ伴ハズ爲メニ漸ク自家用ノミヲ作ルノ有様ナリ、産額ノ最モ多キハ大豆ニシテ五十五萬圓ヲ産ス、坂井郡最モ多ク次ハ馬鈴薯二十六萬圓ニシテ今立ノ五萬圓最モ多ク大野、坂井ノ四萬圓之ニ亞グ、甘藷ノ産額ハ約二十二萬圓ニシテ前年ヨリ十三萬圓ヲ減少シタリ主ナル産地ハ坂井郡金津以北ノ高地ニ多ク金津薯ノ名著ナル其ノ産額十一萬圓ニシテ縣下ノ半額以上ヲ産ス。

果實 總産額四十六萬圓ニシテ前年ヨリ約十九萬圓ヲ減少セリ、本縣ハ氣候濕潤ニシテ結實ニ適ズ加フルニ時々大降雪アリテ樹枝ノ大損傷ヲ來スヲ以テ果樹栽培ノ一大暗礁タリ右ノ外敵ニ凌グヲ得ルモノハ僅カニ柿ノミナルヲ以テ柿ハ本縣至ル處ニ栽培セラレ其ノ産額約二十萬圓アリ然レドモ其ノ栽培幼稚ニシテ全く天然ニ放置セルヲ以テ結果隔年トナリ豐産ノ時ハ價額暴落シテ採取ノ勞銀ダニ得ラザル有様ナリ、現ニ當年ノ如キハ前年ニ比シ收穫高ハ倍加シ價額ハ半減セルノ奇現象ヲ呈セリ、柿ニ次デハ梅ノ八萬圓梨ノ四萬五千圓桃ノ四萬四千圓等主ナルモノナリ。

蔬菜及花卉 本縣ノ同栽培ハ未ダ發達セリト稱スヲ得ズ年々他ヨリ輸入セル數夥シ、大正十五年ハ作付段別二千九百七十三町九段歩收穫金額百九十六萬七千六百六十七圓一段歩平均六十六圓餘ニ過ギズ、内最モ多キハ生大根ニテ六十二萬餘圓前年ニ比シ三萬三千圓ヲ減シタリ、次ハ里芋ニテ三十五萬六千圓前年ヨリ二萬一千圓ノ増加ナリ次ハゴボウ十萬圓キウリ九萬圓ネギ八萬圓ツクナ七萬圓等主ナルモノナリ、地方別ニ觀レバ丹生郡三十二萬圓最モ多シ之レスイガ、マクワウリノ主産地ナルヲ以テナリ、次ハ大野郡ノ三十一萬圓ニテ里芋十四萬圓ヲ産シ約其ノ半額ヲ占ム、足羽吉田ハ小郡ニ不拘二十萬圓以上ヲ産スルハ福井市ヲ控ヘル關係上凡テニ賣行良好ナル所以ナラン、丹生郡ノ生大根十五萬圓モ蓋シ然ラシカ。

工藝農産物 柰柳ハ一時隆盛ナリシガ近來市價暴落ノ爲メ大正十五年以來衰頽ノ徵アリ同年ノ産額ハ四萬五千圓ニシテ前年ニ比シ八千餘圓ノ減少ナリ主産地ハ足羽郡ニシテ約二萬九千圓ヲ産ス之ニ亞グハ丹生郡九千圓等ナリ、コンニヤク芋ハ漸次栽培セララルルニ至リシモ僅カニ一千四百五十圓ニシテ未ダ試作ノ域ヲ脱セズ、楮、三椏等ハ山間農民ノ唯一ノ副業ナリシガ近來バルブニ壓倒セラレ年々凋落ノ現象ナリ、其ノ産額併セラレ九萬四千圓ナリ一時ハ其ノ倍額ニモ達シタルコト往々アリ、工藝農産物總額ニ於テハ約四十萬圓ニシテ前年ニ比シ十六萬三千圓ノ減少ナリ。

桑畑 大正十五年ハ三千八百八町ヲ算シ前年ヨリ三百八十九町ヲ増加シ最近十年間ニ百一町ヲ増加シタリ之レ養蠶業ノ隆盛ヲ語ルモノニテ悦バシキ現象ト稱フベシ。

養蠶 飼養戸數春蠶一萬六千九十二戸夏秋蠶一萬八千七百五十三戸内春蠶ヲモ飼育シタルモノ一萬五千四百七十七戸ニシテ春蠶ヲ飼育シタルモノハ多ク夏秋蠶ヲモ飼育セルコトヲ知ル即チ養蠶家ノ實戸數ハ二萬七百八十八戸ニシテ前年ヨリ一千三百戸ヲ減シタルニ毎年多少ノ増減アリテ大体ニ於テ格別ノ移動ナシ、之ニ反シ掃立枚數ハ連年増加シ大正十五年ハ七萬八千二百七十七枚一戸平均春夏秋ヲ併セラレ三枚九分ノ割合ナリ、前年ニ比スレバ僅カニ三百五十二枚ノ増加ニ過ギザルモ五年前ニ比スレバ約三倍ニ増加セリ之レ養蠶技術ノ進歩セルコトヲ現ハスモノナリ、最モ進歩發達セル地方ハ大飯郡三方郡丹生郡織田地方足羽郡下宇坂地方ナレドモ掃立枚數ニ於テハ大野郡最モ多シ繭ノ生産額モ從ツテ右ニ準ズルモノナレドモ大野郡ハ一枚當收繭高割合尠シ大正十五年ノ收繭高四十二萬六千八百八十二貫ニシテ毎年幾分ツツ増加ノ趨勢ナリ、一枚當收繭高ハ縣下ヲ通ジテ五貫五百匁ニシテ三方郡ハ六貫三百大飯郡ハ六貫百丹生郡ハ六貫遠敷郡ハ五貫九百、足羽郡ハ五貫八百匁ナレド獨リ大野郡ハ四貫二百匁ニ過ギズ將來一層研究ノ餘地多カラシコトヲ思フ春夏秋蠶ノ分量ニ付テハ近年夏秋蠶益發達シテ漸ク春蠶ニ比肩スルニ至リシモ本年ハ尙三萬三千貫ノ差減ヲ生ジタリ掃立枚數ハ夏秋蠶却ツテ多ク五千九百枚ノ超過ナリ養蠶ハ本縣農家ノ最モ重要ナル副業ニシテ養蠶家一戸平均本年ノ收金高ハ百六十圓ナリ、山間ノ收穫少キ水田ヲ有スル地方ハ養蠶ガ唯一ノ生業ナレドモ如何ニセン、氣候濕潤ニ過ギテ該事業ノ發達ヲ阻害スルコト甚ダシ。

畜 産

本縣ハ從來畜産事業ノ餘リ發達セザリシ地方ナリシガ時勢ノ進歩ト共ニ産額モ年々増加シ本年ハ總額百五十萬圓ニシテ前年ニ比シ六萬圓ノ増加ナリ十年前ニ比スレバ約三倍トナル牛乳ハ三十五萬八千圓屠殺ハ五十四萬八千ニシテ十年前ニ比スレバ何レモ三倍ニ増加セリ牛乳ハ福井市近クノ郡部ニ最モ多クレドモ各地之レヲ産セザルハナク家禽ハ坂井

3 427

郡最モ多ク難及卵ニテ十六萬圓ヲ産シ縣下ノ一割六分ニ當リ伴ハ縣下ヲ通シテ五千ニシテ若州ニ耕作用ニシテ多ク飼育シ其ノ數二千以上大野郡ノ山間ニ亦一千有テ、馬ハ年末現在五千六百九十四頭大野郡大部分ヲ占メ其ノ數三千三百ニシテ約半數ヲ有ス残り大部分ハ坂井郡ニテ一千二百頭ヲ有ス。豚ハ市價暴落シ爲メ前年ニ比シ半減シ七百五十五頭ニナル。

林 産

本縣ノ山林ハ土地肥沃ニシテ到處樹木ノ繁茂モザルナク、植林ニ有望ナル地方ナレドモ年々伐採ノ數量多ク植栽之ニ伴ハザルノ感アツ大正八九年ノ好景氣時代ニハ伐採頗ル多ク又シテ近年大ニ減少シ本年ノ總價額四百九十二萬圓トナル前年ニ比シ二百十九萬圓ヲ減シ、就中木炭ニ於テ百三十一萬餘圓ヲ減シ、林産物中木炭ハ最高位ヲ占メ本年ノ産額三百五萬九千圓ニシテ亞クハ薪炭材ノ百三十二萬五千圓次ハ用材百十一萬五千圓ナリ、産額ノ最モ多ク地方大野郡ニテ全縣下ノ二割四分ヲ占メ、竹材ハ縣下ヲ通シテ九萬七千圓ニシテ毎年格別ノ移動ガシ、坂井、丹生、大飯、今立等主ナル産地ナリ、林野面積ハ大正十三年末調査ニシテ總面積二十八萬九千八百四十六町歩内立木地十八萬六千五百八十二町歩無立木地十萬三千二百六十四町ニシテ無立木地ハ全面積ノ二割八分ヲ占メ如何ニ亂伐セバシテ窺フ内保安林ハ四萬八千九百二十一町ニシテ全面積ノ一割七分弱ニ當リ大野郡ハ本縣山林ノ大半ヲ占メ其ノ數十五萬七千四百四十一町ニ及ブ。

水 産

本縣ノ海岸線長キヲ以テ漁民モ多ク魚獲高相當大ナルモノアリ加フルニ越前、岬、沖合ニ波荒キヲ以テ魚類ノ風味頗ル佳良遙カニ他ノ追隨ヲ許サズ爲メニ京阪地方ニ於テ市價モ一般ニ高價ナルヲ常トセリ、本年ノ水産總價額ハ六百三十七萬圓ニシテ内沿岸漁獲大部分ヲ占メ三百五十六萬圓アリ、遠洋漁業百十三萬圓、養殖三萬圓アリ、近來北海地方ヨリ生鱈ノ數額ニ搬入シ加工シテ賣出スモノ多キヲ以テ製造物ノ價額モ相當大ナルモノアリテ百六十五萬圓ヲ産ス、總額ニ於テハ坂井郡最モ多ク百七十四萬圓次ハ丹生郡百五十五萬圓ヲ最高トシ他ハ皆海岸線ニ應ジテ相當ノ漁獲高アリ。

漁船 無動力ノ年末現在三千七百五十五隻十ク年間ニ一千二百隻ヲ減少セリ、有動力ノ年末現在三百五十三隻ニシテ十年前ハ皆無ナリシモノナリ之レヲ地方別ニ觀レバ丹生郡沿岸最モ多ク無動力七百九十五隻、有動力百十四隻アリ、次ハ坂井郡ニシテ無動力五百三十五隻、有動力八十三隻アリ。

漁獲物 沿岸ニ遠洋モ併セテ計算スレバ本縣ノ最高位ヲ占ムルモノハ鯛ニシテ七十三

萬圓次ハ鱈ニシテ七十一萬圓次ハ鯨三十二萬圓鯨二十五萬圓烏賊二十二萬圓鱒二十一萬圓蟹二十萬圓鱈十九萬圓鱈十八萬圓鮎十一萬圓等主ナルモノナリ。

水産製造物 鹽藏ノ鮓第一位ヲ占メ三十七萬圓同鯨鱈等各十三萬圓アリ、蒲鉾、竹輪ハ各地ニ製造セラレ其額二十八萬圓ニ上ル素乾トシテ鱈九萬五千圓ヲ産シ身缺鱈九萬圓鱈二萬圓等主ナルモノナリ、ウニハ本縣ノ名産ナレドモ其ノ産額一萬八千五百五十五圓ニ過ギズ。

鑛 産

大正八年面谷鑛山廢坑以來本縣ノ鑛産ハ見ルベキモノナク石材トシテ三十八萬圓有用土石十三萬圓ヲ産スルノミナリ石材ノ主ナルモノハ敦賀郡ノ花崗岩足羽郡ノ凝灰岩即チ笈谷石トシテ産スルモノアリ、砂利及粘土ハ各地幾分ノ産出ヲナス。

工 産

工産物總價額 本縣ノ工産額ハ常ニ一億圓以上ヲ産出シ好景氣時代ノ大正八年ハ二億圓ヲ突破セリ大正十五年ハ一億一千二百四十八萬圓ニシテ前年ニ比シ約四百萬圓ノ減少ナリ、工産物中、最モ多キハ織物ニシテ約九千萬圓ヲ産シ前年ヨリ四百萬圓ヲ増加セリ、此ノ織物ノミニテ好景氣時代ノ大正七、八、九、十年ノ四ケ年間ハ一億圓以上ヲ産出セリ、次ハ醸造物ニテ五百六十萬圓、次ハ蠶糸四百四十萬圓、漆器百六十五萬圓、肥料百六十三萬圓、葉製品百萬圓等主ナルモノナリ、織物ノ產地トシテ福井市最モ多ク、二千五百萬圓ニ達シ、次ハ坂井郡ノ一千七百萬圓大野郡、今立郡ノ一千三百萬圓吉田郡ノ一千百萬圓等主ナルモノナリ、醸造物ハ坂井郡ノ百萬圓、最モ多ク、其ノ他各地相當ノ産額ヲ有ス、蠶糸ハ遠敷郡ノ二百五十六萬圓最モ多ク、大野郡ノ七十萬圓南條郡ノ三十二萬圓、今立郡、三方郡ノ二十八萬圓等上位ヲ占ム、漆器ハ今立郡百九萬圓ヲ産シ、縣下ノ六割六分ヲ占ム、次ハ遠敷郡ニ二十四萬圓、福井市ニ二十三萬圓ヲ産ス、葉製品ハ農村各地産セザル處ナレドモ、敦賀郡ハ古來コノ製品ヲ以テ現ハレ、其ノ産額二十九萬圓遠ク北海道地方ヘ輸出セラル、次ハ坂井郡ノ二十萬圓、遠敷郡ノ十三萬圓等頭角ヲ現ハス、肥料ハ南條郡ノ産最モ多ク百三十萬圓ヲ産ス。

織物 機業場數ハ大正十五年ニ於テ一千四百六十六、前年ヨリ百六十ノ減少ナリ、最近五ケ年間ニ全ク半減セリ、之レ小ナル工場ニ於テ減少シ大ナル工場ハ益々膨張スルノ趨勢ナリ、機業場數ニ於テ減少セルモ機臺數ニ於テハ、前年ヨリ却テ一千八百五十四臺ヲ増加シ、大正十五年ニハ二萬六千三百二十七臺ヲ算ス、職工數ハ男三千百十九人、女一萬六千三百七十一人合計約二萬人トナル、其ノ内大部分ハ絹織物職工ニシテ男女合

計一萬四千四百五十八人前年ヨリ二千五百人ヲ増加シ、次ハ綿織物職工ニシテ、
 四千七百七十二人前年ヨリ七百人ヲ減少セリ。其ノ他麻織職工八百三十六人、毛織職工三
 十四人ナリ。織物産額中最モ主位ヲ占ムルハ絹織物ニシテ七千四百萬圓、全織物ノ八割
 以上ヲ占メ、産地ハ福井市ニ二千二百六十萬圓坂井郡ニ一千五百萬圓大野郡、今立郡ノ
 一千萬圓等ハ主ナルモノナリ。次ハ綿織物ニシテ一千萬圓ヲ産シ吉田郡ノ三百五十九萬
 圓最モ多ク、足羽郡ノ百七十九萬圓、坂井郡ノ百四十九萬圓、福井市ノ百十五萬圓等主
 位ヲ占ム、絹綿交織物モ其産額多ク三百四十二萬圓ニ達ス、織物ノ凡テ前年ヨリ減少セ
 ルモ絹綿交織物ノミハ前年ニ比シ百萬圓ヲ増加シタルハ異數ナリ。

主産地ハ吉田郡ニシテ他ノ之ノ半額ニモ達セズ、麻及其ノ交織物ハ年額百五十八萬圓ニ
 過ギズ、南條郡ノ八千萬圓最高ニシテ他ノ三十萬圓以下ナリ。

毛及其ノ交織物ハ年額僅カ四十二萬圓ニシテ大野郡ニ三十四萬圓坂井郡ニ八萬圓ヲ産ス。
 瓦及土管 瓦ノ年産額ハ七十一萬圓アリテ前年ヨリ約八萬圓ヲ減少シタルト雖年々増
 加ノ傾向ナリ、坂井郡ノ産額最モ多ク二十萬圓アリ次ハ今立郡ノ十三萬圓、丹生郡ノ十
 萬圓、南條郡ノ八萬圓等アリ土管ハ丹生郡ニ産スル一萬八千六百圓ナルノミナリ。

紙 本縣産物ノ主ナルモノニシテ年額二百二十九萬圓ヲ産ス古來和紙ノ産地トシテ現
 在ハ奉書、烏帽子等ノ名高シ、近來各種ノ紙ヲ製産スルニ至リ、産額ハ却ツテ洋紙類、
 印刷料紙等大部分ヲ占ム。特殊物ノ一ニテ舉ゲルハ奉書八萬圓烏帽子一萬二千圓襖張十
 四萬圓、程村三萬圓、傘紙五萬圓、帳紙二萬圓等トス、産額ノ最モ多キ地方ハ南條郡ニ
 シテ百萬圓ヲ産シ縣下ノ半數ヲ占ム、次ハ今立郡七十六萬圓遠敷郡四十三萬圓等ナリ。

漆器 近年長足ノ進歩ヲナシ、其ノ産額年々増加セリ中ニモ今立郡河和田ノ漆器ハ
 其ノ發達甚ダシ大正十五年ノ産額ハ百六十五萬圓ニシテ河和田ニ於テ百萬圓以上ヲ産ス、
 遠敷郡ニ産スル若狹塗ハ二十四萬圓ニ過ギズ縣下ヲ通シ前年ニ比シ二十六萬圓ノ増加ニ
 シテナク年ニ三倍以上ノ産額ヲ出スニ至レリ。

竹製品 其ノ産額ハ十五萬圓ニシテ主ニ籠及策ヲ産ス、坂井郡三萬五千圓今立郡二萬四
 千圓福井市二萬二千圓丹生郡、敦賀郡各二萬圓等ナリ。

脱柳製品 其ノ産額ハ二十六萬圓アリテ其ノ大部分ハ丹生郡ニ於テ産出シ十四萬六千圓アリ其
 ノ他南條郡ニ三萬圓福井市ニ四萬圓等ナリ。

木製品 其ノ年額百九十五萬圓ヲ産シ前年ヨリ五十萬圓ノ増加ナリ、此ハ多ク日用品ナ
 ルヲ以テ市場ノ景氣如何ニ不拘毎年相當ノ産額アリ、各地亦産出セザルナレドモ福井
 市ノ五十萬圓今立郡ノ六十萬圓坂井郡ノ二十萬圓等主ナルモノナリ。

薬製品 本表ニ計上セザル數ハ自家用ヲ除キタカモノニシテ實産額ヨリハ甚シキ相違ア
 カズモ尙百萬圓以上ヲ産シ農家經濟ノ一部ヲ價ノ重要生産ナリ前年ヨリ七萬圓ヲ減少

シタガモ連年増加ノ趨向ナリ中ニモ産類最モ多ク四十七萬圓次ハ繩類三十四萬圓等ナリ。
 醸造物 年産額五百六十二萬圓ニシテ内清酒大部分ヲ占メ四百二十四萬圓トナル次ハ
 醬油九十一萬圓ニシテ他ハ數ニ於テ甚ダ少シ清酒ハ坂井郡最モ多ク七十三萬圓ヲ産シ
 大野郡ノ六十五萬圓之ニ亞グ、丹生郡ノ五十九萬圓遠敷郡ノ四十三萬圓モ主ナルモノナ
 リ、醬油モ亦坂井郡最モ多ク二十八萬圓ヲ産ス、福井市ノ二十二萬圓遠敷郡ノ十二萬圓
 之ニ亞グ。

製絲 器械糸ノ製糸場數ハ十六ニシテ前年ヨリ一ヲ減シ座繰糸ノ製糸場數ハ六百七十
 九前年ヨリ五十ヲ減少セリ、職工ニ於テハ三千四百六十三人ニシテ前年ヨリ二百九十三
 人ヲ減少セリ、大正十五年ノ總産額ハ四百三十八萬六千六百五十八圓ニシテ百四十五萬
 圓ヲ減少セリ、内四百二十七萬四千四百七十一圓ハ生絲ニシテ残り十一萬二千八百八十七
 圓ハ屑物ナリ産額ノ半數以上ハ遠敷郡ニシテ二百五十一萬圓ヲ産ス。

蠶種 養蠶ノ發達ニ伴ヒ蠶種製造モ年々増加シ、大正十五年ニ於テハ三十八萬七千圓
 ヲ産シ前年ヨリ九萬餘圓ヲ減少シタル情況ナルモ數年來幾分ヅツ増加ノ趨勢ナリ、其ノ
 産出ハ今立郡ニ多ク二十三萬圓ヲ産シ縣下ノ約六割ヲ出ス。

肥料 本表ニハ動物質肥料、植物質肥料、礦物質肥料、調合肥料等ヲ掲載シタルモノ
 ニシテ總計百六十二萬五千五百二十八圓ヲ産シ前年ニ比シ三十三萬圓ヲ増加シタリ、右
 ノ各種類中礦物質肥料ト調合肥料即チ人造肥料最モ多ク百二十九萬七千五百五十三圓ヲ
 産シ全數ノ八割ニ及ブ之レ殆ンド南條郡ノ生産ナリ。

貨 物

主要貨物 大正十五年本縣内各驛ノ主要貨物ハ移入二九六、八四五噸移出、三七九、七
 二二噸ナリ、差引約八萬三千噸ノ移出増ナリ、移出中主ナルモノハ米ニシテ約五萬三千
 噸ノ移出増ナリ米ハ各地方ヨリ移出スルモ坂井郡ノ一萬九千八百二十噸ノ移出増最モ多
 シ次ハ木炭ニシテ三萬九千五百四十四噸ノ移出増ナリ主ナル地方ハ三方郡ノ二萬一千噸
 大野郡ノ五萬七千噸、遠敷郡ノ八萬六千噸、大飯郡ノ二萬三千噸ノ移出増主ナルモノナ
 リ、次ハ魚肥ニシテ二萬六千二百噸ノ移出増ナリ、

主ニ數貨ヨリ移出ス其ノ他鹽、乾魚一萬一千噸、大豆ノ二萬一千噸、藁工品ノ九千噸、
 葉煙草ノ二千二百噸等ノ移出増主ナルモノナリ、移入ニ付テハ石炭最モ多ク、三萬三千
 噸ノ移入増及骸炭二千八百噸ノ移入増ナリ、次ハセメント類ノ二千噸、バルブ三千七百
 噸、鐵及銅製品八千噸、機械類二千四百噸、柑橘四千噸、果物類二千噸、石油類五千噸、
 鹽六千噸、小麥粉二千二百噸、砂糖類五千六百噸、麥酒二千噸、人造肥料三千噸、綿二
 千噸、生糸二千噸、石灰八千噸等主ナルモノナリ。

敦賀港外國貿易 同港ニ於テハ毎年輸入超過ニシテ大正十五年ハ五百十萬圓ニ達セリ
前年ニ比シ百二十六萬圓ノ増加ナリ、輸出ノ主ナル國ハ亞細亞露西亞、支那等ニシテ輸
入ノ主ナル國ハ支那最モ多ク、約五百萬圓次ハ關東州ノ八十三萬圓等ナリ、之ヲ種類別
ニ觀レバ輸入ノ主ナルモノハ原料品ノ四百七十八萬圓ノ輸入超過次ハ食料品ノ九十八萬
圓ノ輸入超過ナリ、輸出キテ主ナルモノハ全製品ノ五十八萬圓、原料用製品ノ十一萬圓
等ノ輸出超過ナリ。

銀 行

勸業銀行預金 大正十五年ノ年末現在ハ六十萬七千六百四十四圓ニシテ、其ノ口數七
百二十ナリ、預ケ主ハ個人ニ於テ最モ多ク四十四萬五千圓アリ、次ハ公共組合十二萬五
千圓、組合三萬二千圓、社寺五千圓等ナリ、

勸業銀行貸付金 大正十五年ノ年末現在ニ於テ八百三十九萬四千七百九十七圓アリ、
之ヲ借主別ニ觀レバ農業者最モ多ク二百八十三萬圓アリ、耕地整理組合百四十三萬圓、
工業者百三萬圓、市百四萬圓等主ナルモノナリ、

無盡業 大正十五年ニ於テ本縣ノ無盡業ハ本店六、支店二、代理店八、出張所七アリ
テ公稱資本金五十六萬圓、拂込資本金十五萬五千圓アリ、

普通銀行 大正十五年ノ年末ニ於テ本店十六アリテ前年ヨリ一減少セリ、拂込資本金
一千二百二十七萬九千二百五十圓積立金四百五十四萬五千四百六十圓アリ、一ケ年ノ入金
十四億三千百萬圓アリテ、出金モ殆ンド同様ナリ、純益金二百萬圓、配當金九十五萬圓
アリ、年末現在貸出高ハ四千五百五十四萬圓、預金高ハ九千四百五十八萬圓、差引四千
九百萬圓預金高増加ナリ、前年ヨリ貸付ニ於テ二千六百八十五萬圓、預金ニ於テ二千
百六十六萬圓ヲ減シタリ、右ノ外貯蓄銀行ニ於ケル普通貯金二百二十五萬圓アリ。

勸業貯蓄 大正十五年ニハ組合數五百六十五、組合員數三萬三千四百三十九人、貯蓄
額五十四萬八千五百八十五圓アリテ前年ヨリ約四萬圓ヲ減少セリ。

郵便貯金 昭和元年末ノ預金人員三十八萬八千二百二十三人其ノ金額二千三百三萬一
千五百十九圓ナリ、前年ニ比シ人員ニ於テ一萬一千八百七十三人、金額ニ於テ二百四十
一萬三千三十二圓ノ増加ナリ、人員ニ於テモ金額ニ於テモ年々増加ノ趨勢ナリ、最近十
年間ニ十三萬人、一千四百三十萬圓増加セリ、預金人員一人當五十九圓三十錢トナル。